

---

# 耳朶

かみなせ しゅら

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

耳朶

### 【Nコード】

N1601Z

### 【作者名】

かみなせ しゅら

### 【あらすじ】

耳たぶのあたたかいの冷たいの

薬を買ったら女の人は笑ったな、ありがとうございましたと言って、袋を渡さずに。自動ドアの手前、目の隅では笑いかけて、恐怖、飲み込んで、必然的な作用に従ってフラフラしたら、小学生は影に隠れて様子を伺った。

弟がいます、習字をしています。僕もやってみました。一緒にバツテイングセンターに行って自転車と一緒に行って、弟が三回打って、僕は一回打って、コーンスープ買ってくれて、それで習字があつて、

「外まで見送ってくれたり？」

「いえ寒いからね」

ドアを開ける。

「暖かいね」

「そっちは着込んでるからね」自転車をだして

「白線の向こうまで見送ってくれたり？」

「しない」

背を向ける

「良いお年を」

「良いお年を。」

HAPPY new yearの話を持ち帰りに話してね、「ウィーウィッシュユーアメリカクリスマス！」って歌い出すから、end  
HAPPY new yearって ジョンレノンの歌でもそうだけど、なんて素晴らしいのだろうって、。

お正月：荘厳にパンパンと両手で叩くのは違った、前向きで来年もHAPPYに違いない。来年もHAPPY！って言うような、嬉しさがいい。

僕はバッティングセンターで空振りをするような気持ちの良さがあるって、バントをすれば良いのだけど、コーンスープを飲むと、優しい人からメールがちょうど届いた頃くらい、コーンスープの底に果実がたまつて、コツコツと落としてあげて、弟は咽せてたら、人間てなんて暖かいのだろうって。

人類一般なんてどうでもいいのですよ、そういう人ばかりになつて僕みたいな、人はみんな薬を飲めば、いえ、お酒でもいいのかもしれないけれど、そうしたら、もっと耳朶はもっと熱くなって、幸せで、なんて幸せでいられるのでしょうか。

暴かれるのが嫌で、逃げてきたけど、魂の内ではまだ耳は暖かいのに、どうして触れれば冷たいのでしょうか、わかっています。それは、見送るとは英語ではなんと言うでしょう、という軽快な問いを鈍痛によつて無視した彼、そこから逃げ出した僕の宿命なのです、触れれば冬の耳朶はいつも冷たいのです、いくら人に暖められても、触れれば、、、。

見送るは、see off です

city hall は多分、市役所です。

はい、。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1601z/>

---

耳朶

2011年12月5日20時09分発行